

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 プラコー  
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 秦 範男  
 (氏名) 権田 和睦

TEL 048-798-0222

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	377	△35.2	△71	—	△83	—	△90	—
21年3月期第1四半期	582	—	△100	—	△115	—	△473	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△11.51	—
21年3月期第1四半期	△60.23	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,567	△243	△15.5	△30.98
21年3月期	1,959	△165	△8.4	△21.03

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 △243百万円 21年3月期 △165百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
22年3月期	0.00	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,079	△22.1	△29	—	△59	—	△63	—	△6.06
通期	2,379	△20.2	83	—	26	—	19	—	1.45

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	7,888,800株	21年3月期	7,888,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	38,657株	21年3月期	38,657株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	7,850,143株	21年3月期第1四半期	7,858,289株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融、経済危機による景気の低迷や、雇用の悪化が続き全体的に厳しい状況でありました。

当社の関係するプラスチック加工業界及び環境関連においても、景気の低迷や自動車の減産により設備投資が減少し、厳しい経営環境にあります。

このような状況下、販売面では、受注を最優先と考え営業人員を増員し、また、社内展示会や顧客へのローラー作戦による受注に努めました。また、生産面では、引続きコスト削減に努めましたが当第1四半期においては、売上高は機械セット物の販売がなかったことや納入機の検収がずれた結果、377百万円と前年同四半期と比べ204百万円減（前年同期比35.2%減）となりました。利益面につきましては、コスト削減はできたものの売上高が減少したため、営業損失71百万円（前年同期は営業損失100百万円）、経常損失83百万円（前年同期は経常損失115百万円）、四半期純損失90百万円（前年同期は四半期純損失473百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前会計年度末に比べて31.5%減少し、749百万円となりました。これは、現金及び預金が246百万円、売上債権が166百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前会計年度末に比べて5.5%減少し、818百万円となりました。

この結果、総資産は前会計年度末に比べて20.0%減少し、1,567百万円となりました。

流動負債は、前会計年度末に比べて19.0%減少し、1,179百万円となりました。これは、仕入債務が91百万円、短期借入金が209百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前会計年度末に比べて5.7%減少し、631百万円となりました。これは、長期借入金47百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は前会計年度末に比べて14.8%減少し、1,810百万円となりました。

純資産は、前会計年度末に比べてマイナス78百万円増加し、△243百万円の債務超過となりました。これは、第1四半期純損失を90百万円計上したことによります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」と言う。）の第1四半期期末残高は、116百万円（前事業年度比38百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は46百万円となりました。これは主に税引前四半期純損失88百万円の計上や、仕入債務91百万円の減少があったものの、売掛債権178百万円減少した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は265百万円となりました。これは主に定期預金の解約193百万円を回収したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は257百万円となりました。これは短期借入金純返済額200百万円及び長期借入金の返済による支出56百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、平成21年5月14日公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、帳簿残高によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成21年3月期において債務超過となり、当第1四半期会計期間末も継続しております。また、当第1四半期会計期間において営業損失、経常損失、四半期純損失営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。

さらに、株式会社ジャスダック証券取引所より引続き特設注意市場銘柄に指定されております。このような事態は、顧客との商談や仕入先との交渉あるいは金融機関との資金調達において、債務超過状態が続く場合には障害となり、一部の先の受注量の減少や銀行との取引に困難な状況となっております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要事象が生じております。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	166,727	412,774
受取手形及び売掛金	132,703	298,897
製品	203,275	135,329
仕掛品	160,364	171,977
原材料及び貯蔵品	39,230	39,934
その他	49,147	35,716
貸倒引当金	△2,283	△342
流動資産合計	749,165	1,094,287
固定資産		
有形固定資産		
土地	508,000	508,000
その他(純額)	199,849	194,036
有形固定資産合計	707,849	702,036
無形固定資産	72	72
投資その他の資産		
その他	215,805	268,787
貸倒引当金	△105,424	△105,365
投資その他の資産合計	110,380	163,422
固定資産合計	818,302	865,530
資産合計	1,567,467	1,959,817
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	347,134	438,990
短期借入金	615,395	824,767
未払法人税等	3,567	9,120
引当金	29,160	22,861
その他	184,338	160,168
流動負債合計	1,179,596	1,455,908
固定負債		
長期借入金	419,367	467,033
退職給付引当金	114,991	113,445
繰延税金負債	89,608	88,558
その他	7,109	—
固定負債合計	631,075	669,036
負債合計	1,810,672	2,124,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,000	1,205,000
資本剰余金	3,441	3,441
利益剰余金	△1,580,011	△1,489,654
自己株式	△5,068	△5,068
株主資本合計	△376,637	△286,281
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,788	△9,491
土地再評価差額金	130,645	130,645
評価・換算差額等合計	133,433	121,153
純資産合計	△243,204	△165,127
負債純資産合計	1,567,467	1,959,817

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	582,102	377,459
売上原価	472,221	305,047
売上総利益	109,880	72,412
販売費及び一般管理費	209,952	143,955
営業損失(△)	△100,071	△71,543
営業外収益		
受取利息	948	435
物品売却益	788	23
その他	1,025	933
営業外収益合計	2,762	1,391
営業外費用		
支払利息	14,178	10,060
手形売却損	—	2,223
その他	3,532	1,449
営業外費用合計	17,711	13,733
経常損失(△)	△115,020	△83,884
特別損失		
たな卸資産評価損	158,176	—
減損損失	263,461	—
子会社清算損	—	4,780
その他	778	—
特別損失合計	422,415	4,780
税引前四半期純損失(△)	△537,436	△88,665
法人税、住民税及び事業税	1,684	1,691
法人税等調整額	△65,775	—
法人税等合計	△64,091	1,691
四半期純損失(△)	△473,345	△90,356

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
税引前四半期純損失(△)	△537,436	△88,665
減価償却費	16,361	7,105
減損損失	263,461	—
子会社清算損益(△は益)	—	4,780
引当金の増減額(△は減少)	21,840	9,844
受取利息及び受取配当金	△1,166	△876
支払利息	14,178	10,060
売上債権の増減額(△は増加)	346,821	178,289
たな卸資産の増減額(△は増加)	△165,678	△55,629
仕入債務の増減額(△は減少)	16,150	△91,369
たな卸資産評価損	158,176	—
その他	△74,275	△5,277
小計	58,433	△31,737
利息及び配当金の受取額	2,251	1,309
利息の支払額	△14,622	△9,551
法人税等の支払額	△7,917	△6,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,145	△46,746
定期預金の増減額(△は増加)	40,009	193,713
有形固定資産の取得による支出	△5,814	△3,210
子会社株式の取得による支出	△26,104	—
子会社の清算による収入	—	21,324
その他	△6,548	54,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,541	265,865
短期借入金の純増減額(△は減少)	△58,650	△200,229
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△66,153	△56,808
自己株式の取得による支出	△69	—
その他	—	△648
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,872	△257,685
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△35,186	△38,566
現金及び現金同等物の期首残高	453,710	154,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	418,524	116,337

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社は、当第1四半期累計期間において、営業損失71,543千円及び四半期純損失90,356千円を計上することになりました。なお、平成21年度3月末に165,127千円であった債務超過は、当第1四半期には四半期純損失を計上した結果243,204千円となりました。その後平成21年8月3日の株主割当増資94,441千円により債務超過が減少しております。また、引続き特設注意市場銘柄に指定されております。

このような事態は、取引金融機関との契約条項に抵触を招き、新規融資、借入金のロールオーバー、手形の割引、信用状の発行など取引金融機関との今後の取引と平成21年9月以降の資金繰りにおいて不確実性が認められます。

これらの状況は、継続企業の前提に疑義を抱かせる事象又は状況に該当いたします。当社はこれらの事象または状況を解消すべく以下の通り諸施策を実施いたします。

(販売促進施策)

- ① 配置転換による販売従事人員の増加
- ② 社内展示会における新商品紹介
- ③ 業界新聞、雑誌上での新商品紹介
- ④ 客先へのローラー作戦の展開による新規顧客の獲得
- ⑤ 部品、メンテナンス工事の受注増加努力

(生産コストダウン施策)

- ① 設計面からの過剰仕様、過剰品質の削除
- ② 国内外の仕入先との交渉による仕入コストダウン
- ③ 海外調達、海外生産の拡充
- ④ 生産性向上を目標とする生産システムの見直しと改善による生産コストダウン

(固定費削減施策)

- ① 労務費の削減
- ② 一般諸経費の見直しと削減
- ③ 月次固定費を限界利益以内に抑える

(財務体質強化施策)

有利子負債の圧縮による資金効率の向上

有価証券、ゴルフ会員権の売却、契約金の受領及び納入機の早期代金回収等を行います。

(資本増強施策)

平成21年8月3日に実施した株主割当増資効果を踏まえ、新商品開発促進と債務超過の解消のため改めて諸施策を検討してまいります。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映していません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 株主割当による新株式数の確定について

平成21年5月29日及び平成21年6月2日開催の当社取締役会において決議いたしました株主割当による新株式発行の総数が確定いたしました。

① 取締役会決議による新株式の発行概要

(1) 募集株式数 普通株式	15,777,600株
(2) 割当率 1株につき	2株
(3) 発行価額 1株につき金	12円
(4) 発行価額の総額	189,331,200円
(5) 資本組入額 1株につき金	6円
(6) 資本組入額の総額	94,665,600円
(7) 払込金額 1株につき金	12円
(8) 申込期間 平成21年7月21日から 平成21年7月28日まで	
(9) 払込期日 平成21年8月3日	

② 失権株の株式数 7,907,507株

③ 失権株を除いた新株式の発行概要

(1) 発行新株式数	7,870,093株
(2) 発行価額 1株につき金	12円
(3) 発行価額の総額	94,441,116円
(4) 資本組入額 1株につき金	6円
(5) 資本組入額の総額	47,220,558円
(6) 増資後発行済株式総数 普通株式	15,758,893株
(7) 増資後資本金	1,252,220,558円

④ 株主割当増資による調達資金の使途

今回調達いたしました資金は、新商品の開発費及び借入金返済に充当いたします。  
今回の調達による資本増強は、中長期的に当社の業績に貢献するものと考えております。

(2) 銀行担保差入額減少について

平成21年4月30日及び平成21年6月30日に短期借入金268,800千円の内207,905千円を定期預金と相殺しました。これにより同額の担保差入額が減少しています。